

(議会運営委員会)

北栄町議会議員 田中 精一

平成26年北栄町議会 委員会研修報告書

1	日 時	平成26年11月18日(火)～19日(水) 1泊2日	
2	調 査 地	熊本県御船町 ・ 福岡県志免町	
3	調 査 内 容	(内 容)	(場 所)
		(1)議会活性化の取り組みについて	熊本県御船町議会
		(2)議会活性化の取り組みについて	福岡県志免町議会
4	調 査 結 果 又は概要 (意見・感想)	(1)議会活性化の取り組みについて (熊本県御船町議会)	
		① 通年議会 ・・・4月上旬に開催する年度最初の議会で、会期を同日から翌年3月31日までと定める。原則として従来の年4回の定例会は残し、その他の月も本会議を開催。ほぼ毎月の議会で一般質問が行われる。町民の行政要望を間髪入れず、タイムリーに処理することにより、より円滑な行政運営を可能にしている。	
		② 議会広報紙の毎月発行 ・・・通年議会導入に伴い、議会広報紙を年4回から毎月発行とし、議会の会議情報の積極的な周知に取り組んでいる。なお、本町同様に「議会広報委員編集委員会」を、条例で従来の特別委員から常任委員会として他の3常任委員会(総務、民生文教、産業建設)と同格の位置づけとしている。	
		③ 議会モニターの設置 ・・・町民から議会運営等に関する要望、提言等を聴取し、議会運営に反映している。2年任期。公募で10人程度を委嘱するが、応募が少ない。無報酬だが、会議や調査の旅費を規定の範囲内で支給している。	
		④ 議会アドバイザー ・・・年1回程度の研修及び意見交換会を開催し、議会・議員活動の資質向上についてアドバイスを受けている。大学教授1名を委嘱。	
		⑤ その他 ♣町人口【H25・3末】 17,912人 ♣町面積 99.00km ²	
		♣議員数 定数16人→現員数16人 うち新人6人(立候補者数17人)	
		♣議員報酬 237,400円/月(一般議員) ♣政務活動費 20,000円/月	
		(2)議会活性化の取り組みについて (福岡県志免町議会)	
		① 議会報告会の開催 ・・・校区単位に出掛け、議会の審議状況等の報告と、意見交換を行う。年1～2回程度の開催実績。	
【主催者の反省点】			
<ul style="list-style-type: none"> ● 参加者が、減少傾向にある ● 参加者の固定化傾向にあり、幅広い参加募集が 			

必要	<ul style="list-style-type: none"> ● 報告内容がマンネリ化し、内容・方法のリニューアル等の検討 ● 校区単位から自治会単位での開催の検討
②町議会一般会議の開催	<p>…議員または町内団体から申込みのあった場合、議会運営委員会で審査し、必要と認めるときに開催する。テーマは「町議会に関すること」、「町政に関すること」、「その他町の重要事項に関すること」のいずれかに該当するもの。会議は概ね90分程度とする。会議終了後、議員全員協議会で評価及び総括を行い、重要なものは、町長に通知する。</p>
【主催者の反省点】	<ul style="list-style-type: none"> ● 団体の申込みはあるが、年々減少傾向である。一方、(町民意見を反映した)議員からの申込みは1件もない。方法等のリニューアルの要検討
⑤その他	<ul style="list-style-type: none"> ★町人口【H26・3末】 45, 554人 ★町面積 8. 70km²
	<ul style="list-style-type: none"> ★議員数 定数14人→現員数14人 うち新人3人(立候補者数17人)
	<ul style="list-style-type: none"> ★議員報酬 275, 000円/月(一般議員) ★政務活動費 20, 000円/月
(3)まとめ	
	<p>今回の研修の調査目的は、「議会活性化」であった。この研修で得たことは、議会活性化を目ざすなら、まず何よりも、議員個々の資質の向上が先決問題である、と感じた。そのためには、町議会議員選挙に多数が立候補し、その中から有能で意欲ある者を選択していただくことが大切である。選挙が活性化すれば、有権者の町政参画機運は、自ずと高まるはずである。しかし、今回の研修で、特に御船町議会の「通年議会」と「広報紙の毎月発行」は、総論賛成ではあるが、何か違和感を覚えた。それは、「何でもあり」とばかり取り組むのはいいが、ふと足元を見つめれば、議員自身が自分の首を自分で締め上げているように、思えてならなかった。</p>
	<p>議会議員は、町政発展と町民の幸福追求のため、私心を捨てて全力で職責を遂行しなければならないことは十分に承知している。当然、金銭目的で立候補した訳ではないが、御船町にのように任務・業務が増大すれば、自らの仕事等を抱えている議員は、とても大変である。もし仮に、本町議会が御船町議会のような取り組みをすることになれば、次回以降の選挙では、立候補者が激減し、場合によっては「定数割れ」の可能性もある。これで本当に「議会活性化」が成しえるのだろうか、と不安になる。</p>
	<p>まずは、多くの志のある者が立候補し、当選後は議会活動に専念できる環境や待遇を整えることが、急務ではないか。いくら立派な議会活性化策を打ち出しても、「絵に描いた餅」となるのではないか。</p>
	<p>まさに議員の「定数及び報酬」の改革を、真剣に議論する時期だと考える。</p>